高等学校 × 保健体育・体育

保健体育・体育どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 7項目　解説PDF 1件



10秒でいうと

専門教科「体育」を「スポーツ」に改称。保健は健康・安全の「概念」と「原則」を軸に

高校は、中3から高3までの「卒業後も運動やスポーツに多様な楽しみ方で関わる時期」に含まれます。高2以上で示す技能は、今の中3〜高1程度を基本とする方向です。
専門教科の「体育」は「スポーツ」に名称を変える案です。保健は、個人と社会生活における健康・安全を総合的に学ぶ方向です。体育と保健の関連も一層大切にします。

どこが変わる？現行⇔次期（高等学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

公正・協力・責任などの態度の位置づけ

現行

「学びに向かう力、人間性等」の中に、愛好的な態度と並んで公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全の態度が位置付けられている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

これらは「**運動との関わり方**」として「**知識及び技能**」を中心に整理し直す方向。愛好的な態度は「運動やスポーツの**多様な楽しみ方を目指す態度（仮称）**」として「学びに向かう力」に残す。

P268 P269 ※現行と改善イメージの対比図は資料編m3 P204（保体⑯）

体育の12年間の時期の分け方

現行

小1〜4「各種の運動の基礎を培う時期」、小5〜中2「多くの領域の学習を経験する時期」、中3〜高3「卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることができるようにする時期」。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

4年ごとの区切りは保ちつつ、小5〜中2を「多くの領域の運動を経験し**スポーツの基礎に触れる時期**」、中3以降を「卒業後も運動やスポーツに**多様な楽しみ方で豊かに関わる**ことができるようにする時期」と再整理。小1〜4は「**遊び**」の要素を取り入れた学習に。

P265 P268 P270 ※系統性の改善イメージ図は資料編m3 P202（保体⑭）

体育の領域名「体育理論」

現行

中学校・高校に「体育理論」の領域がある（中学校：運動やスポーツの多様性など、高校：スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展など）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

領域名を「**スポーツ理論**」に改め、改正スポーツ基本法の趣旨にも留意して内容を改善する案。

P270 ※現行の内容構成は資料編m3 P207（保体⑲）

高2以上で求める技能の水準

現行

学校段階が上がるにつれて技能の内容が積み上がっていく（例：ベースボール型で中3・高校の技能の記述が中1〜2より高度になる）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

高2以上（最終段階）で示す技能は、**現行の中3〜高1程度**を置くことを基本に全体の系統を整理。発展的な学習の余地は示す。

P272 ※ベースボール型の現行と改善イメージの例は資料編m3 P211（保体㉓）

保健の学校段階ごとの学び方

現行

小学校「身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容」、中学校「個人生活における健康・安全に関する内容」、高校「個人及び社会生活における健康・安全に関する内容」のスパイラル構造。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

小学校は「身近な生活を中心とした」内容を**実践的に**、中学校は「個人生活を中心とした」内容を**科学的に**、高校は個人及び社会生活の内容を**総合的に**学ぶ系統に再整理。健康・安全の「**概念**」と「**それに関わる原則**」をスパイラルで深める。

P265 P268 ※保健の系統性の改善イメージ図は資料編m3 P203（保体⑮）

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 保健体育・体育：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）

体育・保健の「見方・考え方」

現行

体育は、運動やスポーツを価値や特性に着目し、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること（92字）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

体育は、運動やスポーツを心身の充実に果たす役割や**多様な楽しみ方**の視点から捉え、自他の豊かな生活と活力あふれる**社会づくりにつなげる**こと。全学校種で1つにそろえ、短く分かりやすく示す。

P267 ※現行と改善案の文案は資料編m3 P192（保体④）。本文P267は改善の方向性のみ

高校専門学科の教科名

現行

専門学科の教科名は「体育」。科目はスポーツ概論、スポーツⅠ～Ⅵ、スポーツ総合演習。実際の指導は「する」に関する実践が多い。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

教科名を「**スポーツ**」に改める案。現行の科目構成を基本に、**スポーツ**の推進・発展の担い手の育成を軸にする。

P265 P271 ※現行の科目構成は資料編m3 P208（保体⑳）

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの高等学校の保健体育・体育の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **保健体育編 体育編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編

学習指導要領の本文

PDF **高等学校学習指導要領（平成30年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

保健体育・体育の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 高等学校の先生へ
資料室（高等学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。